

【福祉の雪事業を利用する手続き】

あらかじめ申請書を提出し登録されていることが必要です。対象になる方には市から決定通知をします。積雪時の出入り口の雪よせが困難で、依頼される方は、シルバー人材センター等から作業に伺います。雪下ろし、排雪等の作業を依頼される方は、必要の都度（早めに）、地区の社会福祉協議会に連絡が必要です。連絡により作業をする方（登録業者）を紹介いたします。

双方で作業等の確認をお願いします。作業終了後に、利用者が作業者に料金を支払いし、領収書等をもらってください。作業業者は、領収書控を添えて地区の社会福祉協議会に作業の終了を報告ください。社会福祉協議会が扶助費の請求手続きを行います。市役所で、対象になる扶助額を指定振込み先に振り込みます。作業費用の総額で計算しますので、手続きに時間がかかる場合が予想されますので、ご了承ください。

市では、雪で困っているお年よりや障害者のために、社会福祉協議会と一緒に「福祉の雪事業」を行います。利用できる方は、次の方のうち自力又は近隣の協力を得ながらも、どうしても支援が必要な方です。65歳以上のひとり暮らしで雪よせが困難な方、65歳以上の高齢者のみで雪よせが困難な世帯、65歳以上の高齢者と障害者若しくは児童のみ等で雪よせが困難な世帯、扶助限度額は4万円です。計画的に活用ください。雪よせ、雪下ろし、排雪等の作業料金の8割まで、4万円を限度に支援します。自力でできる範囲を検討・相談の上で、計

福祉の雪事業

どうしても、雪寄せが困難な方を支援します



画的に制度を活用ください。支給限度額を超えると全額自己負担になります。この事業は、作業費用の支給を行うものであって、建物管理を行うものではありません。生活支援事業のため、空き家や不在の家等は対象になりません。申請先・お問合せ先 市役所高齢者支援課・各支所市民福祉課 市社会福祉協議会・地区の地域福祉センター * 所定の申請用紙があります * 地区の民生児童委員の方々にも手続き案内をお願いしています。

秋の叙勲

本市から4氏受章

平成19年秋の叙勲が11月3日の文化の日に発表され、本市からは、地方自治功労で元県議会議員の北林照助氏（米内沢字薬師下）が旭日中綬章、教育功労で元高等学校長の秋元哲郎氏（鷹巣字西上綱）が瑞宝小綬章、地方自治功労で元森吉町収入役の白澤昭喜氏（桂瀬字岩堂上岱）が瑞宝双光章、消防功労で元合川町消防団分団長の杉淵繁氏（増沢字小瀬渡場）が瑞宝単光章を受章しました。

旭日中綬章



北林照助氏 (79歳) 経て、昭和46年から今春まで8期32年を連続して県議会議員として活躍されました。その間、農林水産、総務企画の各委員長を歴任され、平成3年から1期2年間、県議会議長を務められました。少子化などに伴う人口問題にいち早く着目し、少子化対策の充実を訴えるとともに、空港建設では、自ら搭乗者予測を調査するなどして、平成10年の大館能代空港開港（あきた北空港）に向け

瑞宝小綬章



秋元哲郎氏 (73歳) 昭和35年から26年間、鷹巣農林高校に勤務され、以後、能代農高教頭、増田農高教頭、増田

高校長を経て鷹巣農林高校長を歴任されました。その間、進路指導や特別教育活動の充実に努め、県の高等学校農林業教育の発展に尽力されました。教諭時代は主に林業を指導し、部活・進路指導の面から細部にわたって生徒たちと向き合い、鷹巣農林高校長時代、公務員合格率日本一に導きました。また、平成16年11月には実業関係の教育に長らく携わったとして文部科学大臣表彰を受賞されています。

瑞宝双光章



白澤昭喜氏 (75歳) 昭和60年4月から平成元年3月まで、同6年4月から同14年3月まで2期、通算12年間に渡

瑞宝双光章を受章しました。その間、農林水産、総務企画の各委員長を歴任され、平成3年から1期2年間、県議会議長を務められました。少子化などに伴う人口問題にいち早く着目し、少子化対策の充実を訴えるとともに、空港建設では、自ら搭乗者予測を調査するなどして、平成10年の大館能代空港開港（あきた北空港）に向け

ご尽力され、県はもとより北秋田地域に多大なる功績を残されました。

り収入役を在任し、財政の維持・管理、地域行政を円滑に遂行されるなど、地方自治の振興にご尽力されました。その間、森吉山ダム建設促進、四季美館、クウインス森吉の整備など観光の振興に多大な功績を上げられました。さらに平成10年には、霊峰森吉山に皇太子殿下を招いて、日本最大のスカウトの祭典「日本ジャンボリー」に携わるなど多大な業績を上げられました。

瑞宝単光章



杉淵繁氏 (74歳) 昭和27年に下大野村消防団員として入団し、同30年の町村合併後は合川町消防団員として、

35年余りの長期間にわたり消防発展にご尽力されました。その間、昭和50年から部長、同59年から副分団長、同60年から62年8月まで分団長を務められました。また、昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震では、津波にさらわれた合川南小学校の児童捜索のため、現場で陣頭指揮を執るなど、消防団員として地域住民の生命と財産を守ることに多大な貢献をされました。

市長日誌

10月16日～31日

- 16日(火) 北秋田市災害対策本部会議を開催し、本部の解散と災害復旧支援室の設置を決定（本庁舎）
- 17日(水) 秋田内陸線の県議会建設交通委員会による調査へ立会い（阿仁支所）
- 18日(木) 災害復旧支援室の発足に伴う辞令を交付（本庁舎）
- 19日(金) 森吉山ダム堤体盛立完了式に出席（森吉山ダム建設地） 北秋田市議会全員協議会に出席（市議事堂）
- 21日(日) 第20回東京鷹巣会総会・懇親会に出席（東京都）
- 22日(月) 第12回森吉山エコダム検討会に出席（秋田市ルポールみずほ） 秋田国際木彫シンポジウムファイナルセレモニーに出席（ホテル松鶴）
- 23日(火) 第41回秋田県遺族連合会三市二郡地方大会に出席（北秋田市交流センター）
- 24日(水) 第151回東北市長会総会（八幡平ロイヤルホテル）
- 26日(金) 第26回秋田県公立小中学校事務研究大会大館北秋田大会に出席（北秋田市文化会館）
- 27日(土) 第2回北秋田市産業祭開会式に出席（鷹巣体育館）
- 28日(日) 経済産業大臣より企業立地促進法に基づく基本計画の第3号同意に係る同意書の交付を受け、その後、地域経済産業活性化対話に参加（経済産業省）
- 30日(火) 東北直轄ダム連合会幹事会に出席（あゆっこ）
- 31日(水) 中嶋喜代氏各種授賞祝賀会に出席（中央公民館）